

各 位

2022年1月26日
マネータップ株式会社

大垣共立銀行のお客さま向けに Money Tap アプリの PayB サービス提供開始のお知らせ

マネータップ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：川島 克哉、以下「当社」）が提供するスマートフォンアプリ「Money Tap」へ新たに株式会社大垣共立銀行（本社：岐阜県大垣市、取締役頭取：境 敏幸、以下「大垣共立銀行」）が接続し、同行のお客さま向けに請求書支払サービス（PayB）を開始することとなりましたのでお知らせいたします。

【請求書支払機能（PayB）のサービス概要】

PayBは、コンビニエンスストア等での支払いで利用される払込票のバーコードをスマートフォンのカメラ機能で読み取ることで、アプリに登録した金融機関口座から即時に支払いができるスマートフォン決済サービスです。大垣共立銀行のお客さまはMoney Tapでバーコードを読み取ることで、大垣共立銀行口座から各種料金の直接支払いが可能となります。

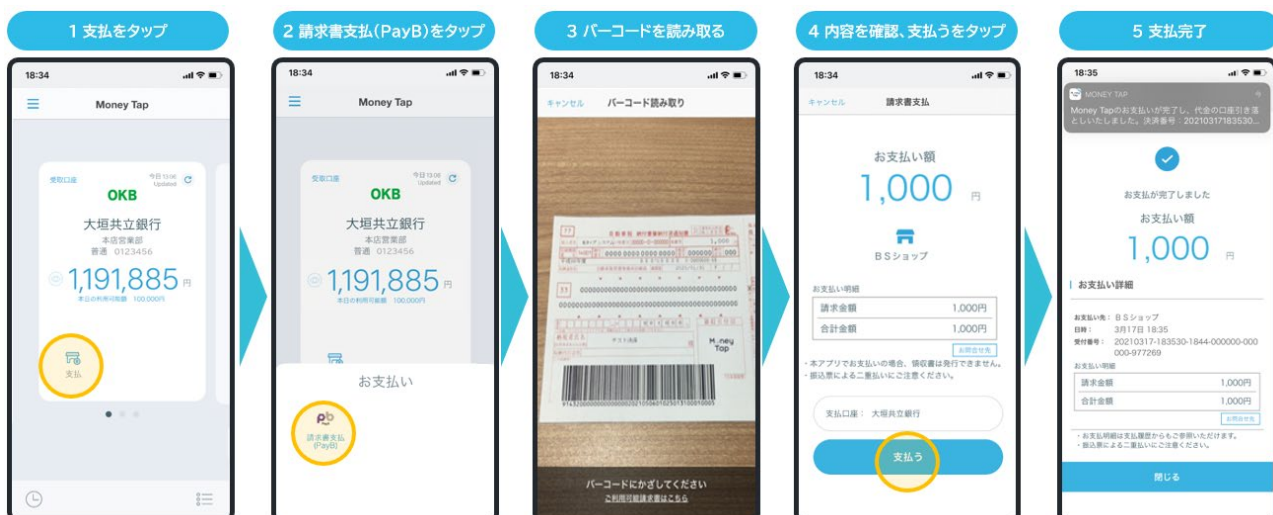
ご利用可能な払込票は電気料金、ガス料金、携帯電話料金、インターネット回線料金、放送受信料、水道料金、住民税、固定資産税、軽自動車税、介護保険料、通信販売代金など多岐にわたっており、2022年1月14日時点で民間企業8,257社、地方公共団体1,144団体の払込票のお支払いが可能となるなど、急速なサービス拡大を続けております。

【大垣共立銀行のお客さま向けPayBサービス開始日】

2022年1月28日（金）

また、Money Tapの個人間送金につきましても大垣共立銀行のお客さま向けに提供できるように、今後両社で検討を進めて参ります。

【操作イメージ】



Money Tap

当社は、米国Ripple社の分散型台帳技術（DLT：Distributed Ledger Technology）を活用したスマートフォン向け送金アプリMoney Tap事業、ならびにDLTを活用した次世代金融インフラを提供しており、金融機関はマネータップ社とAPI接続することで、マネータップ社が接続する様々な金融サービスを活用することができます。

引き続きMoney Tapの機能拡大、そのシステム基盤の金融インフラとしての活用を図り、顧客便益性の高い金融サービスを提供するとともにキャッシュレス決済推進を通じた新たな産業の育成及び社会コストの低減に貢献して参ります。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：マネータップ株式会社 info@moneytap.jp